

公明党

県議会ニュース

2010年春季号

発行／兵庫県議会公明党・県民会議議員団
〒650-0011 神戸市中央区下山手通5-10-1
控室TEL/078-362-3727 FAX/078-371-1883
<http://hyogo-komei.net>



芦屋川

いのちを守る「公明党・県民会議」です

下記の施策が、県の平成22年度予算に盛り込まれました。



ヒブワクチン接種 県の公費助成制度実現

ヒブワクチン接種の公費助成を行う市町を支援する県の制度が本年4月からスタートします。

ヒブワクチンは、乳幼児がインフルエンザ菌b型などにより発症する細菌性髄膜炎の予防に有効で、4回接種

で約3万円と自己負担が大きいいため、これまで公明党・県民会議として機会あるごとに要望してきたものです。

自己負担額は、ほぼ半額になる見込みで、こうした取り組みが各市町で広がりつつあります。

待望のドクターヘリ 4月に始動

医療機器を装備したヘリコプターに、救急医療の専門医師や看護師が搭乗。現場で救急医療を開始し、医療機関に傷病者を搬送します。半径50キロ圏内なら15分以内に直行でき救命率

アップに期待が寄せられています。

兵庫県、京都府、鳥取県との共同運航で、公立豊岡病院を拠点とします。

過疎地域の中でも、特に医療不足が深刻な県北部に導入されます。



こども医療費助成制度 4月スタート

小学4年生から中学3年生までの児童・生徒を対象に入院医療費の自己負担額の3分の1を県が助成します。

より安全・安心な子育て環境の充実に取り組みます。
(このほかに独自の助成を行っている市や町もあります。)

「行政のムダ、ゼロ」と県民の視点に立った県政の実現

事務事業、投資事業、組織、公社のあり方において、今後の少子高齢化や人口減少といった社会情勢の変化を見すえ、抜本的に検証するとともに、

県税収入の更なる落ち込みに対しては、一層の行政コストの削減や組織のスリム化を図り、簡素で効率的な行政を目指していきます。

